

# 富士国際旅行社のASEAN視察旅行はココが違います!



1.お問合せフォームに、お客様の視察・交流の旅の日程、ご予算などの希望をお知らせ下さい。効率の良い経済的な日程や視察・交流案をご案内します。  
メールでのご相談・お問い合わせは… henshu@fits-tyo.com



2.日本と現地の視察先、交流団体の相互の連絡により、中身の濃いオーダーメイドの視察を手配いたします。  
海外提携先のネットワークを活用し、モデル日程・企画を提案いたします。



3.通訳やコーディネーターの手配もいたします。  
必要に応じてその地域に詳しい添乗員やガイドを手配致します。

4.現地の視察・交流だけでなく、旅の学校(視察前の学習会)を実施いたします。  
必要な資料や現地事情を同時に説明会としてご案内します。

## 富士国際旅行社の主な過去ASEANツアー

- 1.1967年12月：カンボジア・アンコールワットへの美術の旅
- 2.1974年12月：第1回ベトナム友好訪問団(ハノイ・ハイフォン・ハロン)
- 3.1975年9月：ベトナム南北縦断の旅(ハノイ～サイゴン)
- 4.1977年12月：日本で最初のベトナムへのチャーター便(日本航空)  
(以後3年間でのべ7機)ホーチミン市へ運航
- 5.1984年5月：アンコールワットへの旅(再開)

- 最近の企画：
- \*ベトナムマングローブの森再生と枯葉剤問題
  - \*マレー半島日本軍侵略の道を検証する旅
  - \*カンボジア平和と交流の旅(ポルポト政権の虐殺を見る)
  - \*信仰深いラオスの国と大自然を訪ねる
  - \*ASEANの源流を訪ねるインドネシアの旅
  - \*フィリピンと日本の未来を考える旅(米軍基地と原爆)
  - \*民主化の闘い25年ミャンマー(ビルマ)を訪れる旅
  - \*サイゴン解放までの60日間の足跡をたどる



# 視察・交流の旅おまかせ下さい。

## 注目のアセアン視察・交流の旅

近年、目覚ましく経済成長を続けるASEAN(東南アジア諸国連合)は、TAC(東南アジア友好協力条約)やARF(アセアン地域フォーラム)など、「紛争の対話による解決」の枠組みをまず域内につくり、それを域外にも広げています。「紛争を戦争にしない」「紛争の対話による解決」を原則とし、軍事に頼らない「平和的安全保障」という考え方を実践しているのがASEANの諸国です。

激動するアセアン諸国との交流や視察は、今後の日本の運動に参考になるものと考えています。是非この機会に、視察・交流の旅をご検討されてはいかがでしょうか?



▲アセアン本部(ジャカルタ)

Peace, Green, Humanityは、富士国際旅行社の経営理念を企画作りのモットーとして具体化したものです。創業50年を迎え、アセアン諸国の平和、教育、医療、環境などの視察・交流の旅の参考コースを作成しました。心通う仲間や労組、団体の学習・研修旅行にご活用ください。

旅行企画・実施



株式会社

富士国際旅行社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階  
TEL:03-3357-3377 FAX:03-3357-3317



**ASEAN (東南アジア諸国連合) とは**  
 東南アジア10か国から成るASEAN (東南アジア諸国連合) は、1967年の「バンコク宣言」によって設立されました。原加盟国はタイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの5か国で、1984年にブルネイが加盟後、加盟国が順次増加し、現在は10か国で構成されています。地域協力としてのASEANは、過去10年間に高い経済成長を見せており、今後、世界の「開かれた成長センター」となる潜在力が、世界各国から注目されています。

## 貴団体の効果的な視察・交流をサポートします。

旅の学校(テーマ別の事前学習会)をはじめ、ご希望により旅行説明会を行います。また、貴団体のニーズにお応えして、現地の視察だけではなく、セミナー・交流のお手伝い、帰国後の発表会まで、トータルにお世話いたします。



お問合せ時のご注意事項

- \* お客様の視察目的、ご希望の視察内容をお伺いし、モデル日程、企画内容をご提案します。
- \* 視察、訪問先の手配確認が必要な場合は、お問合せより、1週間以上かかります。
- \* 視察先の都合により、視察内容の変更、視察訪問自体ができない場合もあります。その場合、当社より提案する企画内容が異なる場合もあります。あらかじめご了承下さい。

## ～ 楽しく学び、元気の出る旅とは ～

ポイント 1

**★目的やテーマを絞る：どんな所を訪ね、何を知りたいのか**  
 その国への訪問目的、例えば「人権問題」「平和問題」「環境」くらいまで絞ってみましょう。なるべく、視察・訪問先の「見学・懇談」を主にすると旅ならではの収穫が得られます。

ポイント 2

**★どの国、どの地方、どんな都市へ**  
 目的との関係で選ぶこととなりますが、日数や費用の関係では数や範囲が増えない方が良いでしょう。テーマによっては、首都や大都市だけではすまないこともあります。

ポイント 3

**★時期や曜日を検討して。人数は10～15名が一般的**  
 乗物や通訳・ガイドなどの費用は人数割なので、人数が多いほど経済的ですが、施設や学校、病院等は人数制限があり、不都合なこともあります。

ポイント 4

**★お近くの空港から出発。余裕のある日程を**  
 成田や関空からの出発ばかりではなく、お近くの空港から、韓国や台湾、香港経由で行くことも可能です。また、視察旅行でも、その国、地域の歴史や文化についても学び、市民生活に触れることも必要です。連泊できる日程をお勧めします。

## ベトナム



### ベトナムの歴史

ベトナムの起源は、紀元前1000年ごろベトナム北部に建国されたヴァラン(文郎)国といわれ、長く中国に支配されました。1883年にフランスの保護領となり、第2次世界大戦では日本に占領されましたが、1945年独立を宣言。独立を認めないフランスとインドシナ戦争が勃発し、1954年5月7日、ディエンビエンフーの戦いでフランス軍を敗北させ、北緯17度を軍事境界線とする休戦協定が成立しました。北はホー・チ・ミンが率いるベトナム民主共和国、南は米国の傀儡(かいらい)政権ゴ・ディン・ジエム大統領のベトナム共和国が樹立されました。統一を悲願とするベトナム民主共和国は、1960年にベトナムを統一する憲法を公布。南ベトナムでも、1954年に「サイゴン・チョロ平和委員会」1960年には「南ベトナム解放民族戦線」ができて、ジエム政権に抵抗しました。崩壊の危機に瀕した南ベトナム政権を支援するため、米国は1965年2月から北爆を開始し、本格的なベトナム戦争に突入。ベトナムの強い抵抗に、戦況は泥沼化して米軍は1973年に撤退を開始。1975年4月30日、サイゴンが陥落してベトナム戦争が終わりました。1976年に南北の統一が実現しましたが、カンボジアへの侵攻、中越紛争、社会主義の行き詰まりで国際難民の発生などでベトナムは危機に瀕しましたが、新経済政策「ドイモイ」路線を起用して、1990年代には急成長しました。1995年には米国とも国交を正常化し、東南アジア諸国連合(ASEAN)にも加盟し、目覚ましい発展を続けています。



### 視察・交流のポイント

ベトナム平和委員会  
 ベトナム女性同盟  
 ベトナム日本友好協会  
 ツーズー病院平和村 など

### お薦めコース(一例)

日次	都市	現地時刻	スケジュール (宿泊)	食事
①	日本各地 ハノイ	午前 午後 夜	成田・関西・福岡 → ハノイ 着後、ホテルへ 水上人形劇鑑賞 <b>ハノイ泊</b>	☒ ☒ ☒
②	ハノイ		ハノイ市内見学及びベトナム友好団体との交流など <b>ハノイ泊</b>	☒ ☒ ☒
③	ハノイ フエ	午前 午前	ハノイ → 古都フエ 着後、フエ市内見学(視察も可) <b>フエ泊</b>	☒ ☒ ☒
④	フエ		ベトナム戦争の激戦地(DMZ) 戦跡見学 <b>フエ泊</b>	☒ ☒ ☒
⑤	フエ ホーチミン	午前 午前	フエ → ホーチミン 到着後、ホーチミン市内見学(視察も可) <b>ホーチミン泊</b>	☒ ☒ ☒
⑥	ホーチミン	深夜	クチトンネル見学 ホーチミン → <b>機中泊</b>	☒ ☒ ☒
⑦	日本各地	午前	→ 成田・関西・福岡	☒ ☒ ☒

◆ 旅程表のマーク: ☒=朝食 ☐=昼食 ☑=夕食 ☒=食事なし ☒=機内食 ☒=お弁当  
 ●=建物内部の見学 ○=下車して見学 ○=車窓見学  
 →=航空機 🚗=専用車 🚆=列車 📍=オプションツアー



# インドネシア



## インドネシアの歴史

古くはインド人の渡来により、仏教が伝わり、ジャワ島に仏教寺院ポロブトゥールなどの遺跡を残しましたが、オランダ、イギリス、ポルトガルなどによる植民地支配、日本軍の占領などを受けました。第2次世界大戦終焉後、独立を宣言し、1945年にインドネシア共和国として正式に独立を果たしました。

インドネシアは、15世紀後半にイスラム国家が誕生したこともあって、国民の85.2%がイスラム教徒で、リゾートとして発展するバリ島のみヒンドゥー教の影響を受け、島民の85%がバリ・ヒンドゥー教を信仰し、宗教が生活・文化に結びついています。

インドネシアの観光は、仏教遺跡ポロブトゥールと、“神々の島”バリ島を中心に、美しい自然をのぞみながらの高級リゾート滞在が人気で、伝統的ガムラン音楽や、宮廷舞踊レゴン、影絵人形芝居ワヤン・クリッ、ジャワ更紗のパティックなど、インドネシアの文化・芸能を楽しむ観光者は毎年500万人を超えています。



### 視察・交流のポイント

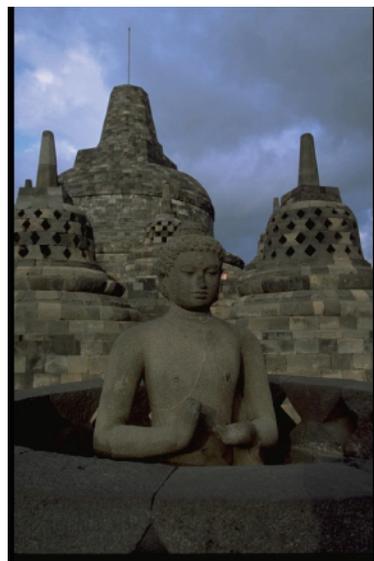
- \* アセアン本部事務局訪問・懇談
- \* 南南技術協力のための非同盟センター(CSSTC)
- \* アジア・アフリカ会議博物館 (バンドン会議)
- \* 元「従軍慰安婦」の方との交流
- \* インドネシア女性団体
- \* インドネシア農民組合 など

### お薦めコース(一例)



日次	都市	現地時刻	スケジュール (宿泊)	食事
①	日本各地 ジャカルタ ジョグジャカルタ	午前 午後 夜	成田・関西 → ジャカルタ → ジョグジャカルタ <b>ジョグジャカルタ泊</b>	X 機 機
②	ジョグジャカルタ		ポロブトゥール遺跡 見学 元従軍慰安婦の方との交流など ワヤンクリット鑑賞 <b>ジョグジャカルタ泊</b>	B L D
③	ジョグジャカルタ ジャカルタ	午前 午前	ジョグジャカルタ → ジャカルタ 着後、ジャカルタ市内見学及び ASEAN本部訪問 <b>ジャカルタ泊</b>	B L D
④	ジャカルタ バンドン ジャカルタ	午前 午後	ジャカルタ 専用車 バンドン 着後、アジア・アフリカ会議博物館見学等 バンドン 専用車 ジャカルタ <b>ジャカルタ泊</b>	B L D
⑤	ジャカルタ	深夜	インドネシア友好団体と交流 ジャカルタ → <b>機中泊</b>	B L D
⑥	日本各地	午前	→ 成田・関西	機 X X

◆ 旅程表のマーク: [B]=朝食 [L]=昼食 [D]=夕食 [X]=食事なし [機]=機内食 [併]=お弁当  
●=建物内部の見学 ○=下車して見学 ○=車窓見学  
→=航空機 専用車=専用車 列車=列車 OP=オプションツアー



# マレーシア



## マレーシアの歴史

マレーシアは、15世紀にマラッカ王国が成立。アジア交易の拠点として栄えましたが、1511年にポルトガルが支配。1641年にオランダ、1786年にイギリスが領有し、第2次世界大戦中は日本軍が占領しました。戦後、再びイギリスの支配が始まりましたが、マレー人の独立機運が高まり、1957年にマラヤ連邦として念願の独立を達成しました。1963年にシンガポール、サバ、サラワクを加えてマレーシア連邦を成立させましたが、1965年にシンガポールが脱退したため、現在のマレーシアとなりました。

多民族、多文化が共存するマレーシアは、1971年にイスラム教を国教とする、マレー語を公用語とする、マレー系住民に優先的地位を与えるなどの『ブミプトラ政策』と、1981年の日本、韓国を見習えという『ルック・イースト政策』を実施し、マレーシアは1971年から1990年までの間、平均6.7%の経済成長率を達成し、さらに1992年には『ビジョン2020』を提唱し、2020年までに先進国の地位実現に向けて発展を続けています。



### 視察・交流のポイント

- \* 戦争記念館
- \* 反核平和団体
- \* マレーシア女性団体
- \* 戦争証言者との懇談
- \* 現地NGO団体(教育)

### お薦めコース(一例)



日次	都市	現地時刻	スケジュール (宿泊)	食事
①	日本各地 クアラルンプール コタバル	午前 夕刻 夜	成田・関西 → クアラルンプール → コタバル <b>コタバル泊</b>	X 機 機
②	コタバル	夜	戦争記念博物館など見学 コタバル 専用車 寝台列車等でマラッカへ <b>車中泊</b>	B L D
③	マラッカ	午前	着後、マラッカ市内見学 サンチャゴ砦や慰安婦跡など <b>マラッカ泊</b>	B L D
④	マラッカ クアラルンプール	午前 夕刻	マラッカ 専用車 マンティン(中華義山) 専用車 クアラルンプールへ 夜、マレーシア友好団体との交流 <b>クアラルンプール泊</b>	B L D
⑤	クアラルンプール	深夜	クアラルンプール市内見学 クアラルンプール → <b>機中泊</b>	B L D
⑥	日本各地	午前	→ 成田・関西	機 X X

◆ 旅程表のマーク: [B]=朝食 [L]=昼食 [D]=夕食 [X]=食事なし [機]=機内食 [併]=お弁当  
●=建物内部の見学 ○=下車して見学 ○=車窓見学  
→=航空機 専用車=専用車 列車=列車 OP=オプションツアー

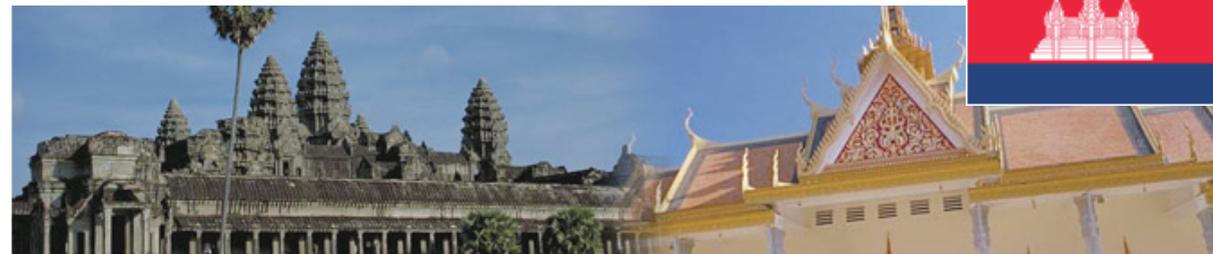


▲マラッカ慰安婦跡



など

# カンボジア



## カンボジアの歴史

カンボジアは、東南アジアのインドシナ半島の南部に位置する国で、正式国名は、カンボジア王国。ベトナム、タイ、ラオスに隣接し、東南アジアの大河、メコン川と、半島最大の湖、トンレサップ湖を水源とする農業国として栄えています。面積は日本の約2分の1弱、約18万1,000km<sup>2</sup>、人口は約1,340万人で、首都はプノンペンです。現在は小さな国となりましたが、9～13世紀にはアンコール王朝として栄え、インドシナ半島全域を支配していました。その当時の栄華をしのぼせる遺跡がアンコール遺跡群で、密林の奥にひっそりとたたずんでいましたが、西欧人に発見されて、世界の注目を浴びることとなりました。1992年には世界遺産にも登録されて、保存、修復が進められ、かつての姿に戻つつあります。交通、ホテルなども整えられ、アンコール遺跡群を観光する旅行者は毎年増加し、年間200万人を超える人々が世界各地から訪れています。



### 視察・交流のポイント

- \* 現地NGO団体(障害者組織)
- \* カンボジア女性協会
- \* プノンペン職業訓練センター
- \* プノンペン大学
- \* クメール伝統織物研究所 など

### お薦めコース(一例)



日次	都市	現地時刻	スケジュール (宿泊)	食事
①	日本各地 プノンペン	午前 夜	成田・中部・関西・福岡 → プノンペン <b>プノンペン泊</b>	[X] 機 機
②	プノンペン		プノンペン市内見学 *キリングフィールド *トゥールスレン博物館等、ポルポト政権による虐殺の実情を見学 <b>プノンペン泊</b>	[B] [L] [D]
③	プノンペン シエムリアップ	午前 午後 午後	カンボジア友好団体との交流・懇談 プノンペン → シエムリアップ アプサラダンス鑑賞 <b>シエムリアップ泊</b>	[B] [L] [D]
④	シエムリアップ		アンコールワット遺跡見学 <b>シエムリアップ泊</b>	[B] [L] [D]
⑤	シエムリアップ	夕刻	現地NGO団体との交流・懇談 シエムリアップ → <b>機中泊</b>	[B] [X] [D]
⑥	日本各地		→ 成田・中部・関西・福岡	[機] [X] [X]

◆ 旅程表のマーク: [B]=朝食 [L]=昼食 [D]=夕食 [X]=食事なし [機]=機内食 [弁]=お弁当  
●=建物内部の見学 ○=下車して見学 ○=車窓見学  
→=航空機 専用車=専用車 列車=列車 ○P=オプションツアー

# ミャンマー



## ミャンマーの歴史

ミャンマーは、1044年に初の統一国家パガン朝が誕生。1735年にはアラウンパヤ朝が成立し、1886年に英領インドに併合されました。第2次世界大戦中は日本軍の一部を占領されましたが1948年に独立を達成。以後ビルマ式社会主義を進めましたが、軍事クーデターや少数民族の独立武装闘争などで政情は安定せず、1988年に軍政が施行され、1989年には国名をビルマからミャンマーに変更しました。2006年10月10日、ミャンマーの首都は旧首都のヤンゴンの北約320kmのピーンマナのジャングルを切り開いて、官庁街が建設され、ネーピードー(王都)と名付けられて新首都となりました。一般国民の出入りは禁じられています。

ミャンマーは、戒律の厳しい小乗仏教の国で、国内の各地にパゴダと呼ばれる巨大な仏塔が点在しています。旧首都ヤンゴンにはミャンマー最大の聖地、シェダゴオン・パヤがあり、エーヤワディー(イラワジ川)川中流域、パガンにはミャンマー屈指の仏教遺跡も残されて、エーヤワディー川の遊覧船や、遺跡めぐりの馬車で観光を楽しむ人も増えています。



### 視察・交流のポイント

- \* NLD(国民民主連盟)
- \* 市民運動団体
- \* 現地NGO団体(教育関係)
- \* 日本人墓地
- \* 現地NPO団体 など

### お薦めコース(一例)



日次	都市	現地時刻	スケジュール (宿泊)	食事
①	日本各地 ヤンゴン	午前 夜	成田・中部・関西・福岡 → ヤンゴン <b>ヤンゴン泊</b>	[X] 機 X
②	ヤンゴン		ヤンゴン市内見学 *アウンサンスーチー宅 *NLD(国民民主連盟)本部見学 など 現地友好団体との交流・懇談 <b>ヤンゴン泊</b>	[B] [L] [D]
③	ヤンゴン バガン	午前 午前	ヤンゴン → 遺跡の町バガン 着後、バガン遺跡見学 夜、操り人形劇鑑賞 <b>バガン泊</b>	[B] [L] [D]
④	バガン マンダレー	午前 午前	バガン → 最後の王朝マンダレーへ 着後、マンダレー郊外見学 <b>マンダレー泊</b>	[B] [L] [D]
⑤	マンダレー ヤンゴン	午後 夕刻	マンダレー → ヤンゴン → <b>機中泊</b>	[B] [X] [X]
⑥	日本各地		→ 成田・中部・関西・福岡	[機] [X] [X]

◆ 旅程表のマーク: [B]=朝食 [L]=昼食 [D]=夕食 [X]=食事なし [機]=機内食 [弁]=お弁当  
●=建物内部の見学 ○=下車して見学 ○=車窓見学  
→=航空機 専用車=専用車 列車=列車 ○P=オプションツアー

